

## 平成 29 年度 第 3 回運営委員会議事録（案）

- 日 時 : 平成 29 年 7 月 27 日 (木) 14:30~16:00
- 場 所 : サプリ村野 環境保全研修室
- 出席者 : 伊丹、市山、川南 (枚方市)、末岡、竹島、豊高、西原、丸井、事務局
- 欠席者 : 井上、田中<sub>清</sub>、宮村、
- 議 長 : 西原
- 議事録作成 : 事務局
- 配布資料

- ・ 温暖化対策事業推進チーム
- ・ 平成 29 年度第 3 回まちづくり部会議事録
- ・ 自然エネルギー学校チラシ
- ・ 環境教育部会 くらわんか塾報告書
- ・ 平成 29 年度 7 月 自然エネルギー一部会議事録

### 1. 報告事項

#### (1) 事務局報告

- ・ 前回より、正会員が一人増えた。
- ・ 中期計画に掲げた最終年度の数値目標は、発足当時の会員数としている。

#### ○温暖化ミーティング報告

- ・ ごみ減量アイデアコンテストを 70 周年事業としての取り組みとする他、温暖化対策実践調査の実施も検討している。
- ・ ゴミ減量アイデアコンテストは、現在 5 通の応募があり、どれもよく考えられている。
- ・ 本日、学校配布からのエコノートの応募があり、多くの労を費やした甲斐があったと喜んでいる。学校配布は配布枚数が多いわりに応募が少ないのだが、チラシ等を見て取り組みを知ってもらうことそのものが啓発になるという考えで配布している。

#### (質疑応答)

- Q. 全校配布してはどうか。
- A. コストがかかる事や負担に感じる先生もおられるので難しい。

#### (2) 部会報告

##### ①自然エネルギー部会

- ・ 先日、井上、丸井、吉川 (枚方市) で枚方市下水道課に赴き話し合いを行った。  
やはり、ピコ水力の常設は無理であるが、イベント時に臨時設置しスタッフが監視できる状態であれば検討の余地はある、との事であった。
- ・ ソーラーと風力発電塔の常設の可能性はある。
- ・ 8 月から自然エネルギー学校が始まる。第 1 回のソーラーカーは 50 台用意している。  
第 2 回は、東部清掃工場の売電システムと村野浄水場の小水力発電の見学  
第 3 回は、今年最終年度となった“おひさま発電”と穂谷自然農園・ピコ水力の見学

##### ②環境教育部会

- ・ くらわんか塾が終了した。新規受講者は 9 名であった。
- ・ 昨日施設見学として、「かざぐるま」と「関西リサイクルシステムズ(株)」へ行った。

- ・出前授業は、5月～7月の間で、4小学校5講座で計11回の授業を行った。夏休みは自然エネルギー学校への協力等がある。
- ・7月31日は、S-EMSの研修の場に自転車発電等を展示させていただく。

### ③公共交通部会

- ・「バス！のって スタンプラリー 夏休み探偵団」の方は、現在シートの申込が88名である。初めての試みで、直前の下見でスタンプ設置場所の対応等いろいろな問題はあったが、すべて対処し、22日無事にスタートすることができた。
- ・「9月10日きらっと！ひらかたじまん」の参加申込も始まっている。

### ④まちづくり部会

- ・「まちづくり講座」の第1回を8月12日楠葉丘自治会で開催することが決定した。約80名の自治会役員の方を対象に「わがまち楠葉が昔はどういうところであったのか」などの話をする。

#### <意見>

- Q 昔話ではなく、まちづくりを市民一人一人が考える機会としてほしい。
- A まず、第一歩として、自分のまちへの関心を深めてもらうきっかけづくりとしてこの講座を開催し、枚方魅力発信による“まちづくり”へつなげていく。

## 2. 協議事項

### (1) 枚方市地球温暖化対策実施計画における当法人の役割

枚方市地球温暖化対策実施計画の大きな方向性として、次の4つがある。

- ・再生可能エネルギーの利用拡大、
- ・省エネルギー・省CO<sub>2</sub>活動の推進
- ・低炭素化につながる環境整備の推進
- ・循環型社会の構築に向けた活動の推進

上記4点の進捗状況を踏まえ、当法人が取り組むべき課題を洗い出し検討したい。

#### <意見>

- ・枚方市の環境施策をみていると、「緑のカーテン」と「打ち水」ばかりが目立つ。
- ・最近の個配の急増加による環境への影響はどうか。
- ・スマートライフにシフトしようという動きはかなり前からあるが、一体どれだけの人がシフトできているのだろうか。⇒ スマートライフやグリーンコンシューマーについて、言葉だけでなく、内容も含めて、もっと知ってもらう必要があるのでは
- ・スマートライフの項目の中で、当法人が推進できるものはどれか。
- ・最近の集中豪雨による大災害は、温暖化の問題と里山保全の問題が絡み合い、まさに当法人で取り組むべき課題ではないか。⇒ 地球温暖化対策よりもっと身近な2次災害（里山や河川・避難など）の問題にも取り組んではどうか。
- ・地球温暖化の問題も災害を切り口とすれば、多くの市民にとって切実で緊急な課題として関心が高まるのではないか。

#### <まとめ>

次回、これについて引き続き議論し、事業化への検討を行う。

### 次回運営委員会

日時：2017年9月5日（火） 14:00～16:00

場所：サプリ村野 環境保全研修室